

大正サタスタ 第4回

7月11日(土)大正サタスタ第4回目を行いました。次の日が卓球部の市中大など、部活に参加する生徒が多かったということもあり、今回の参加者は15名と少なめでしたが、参加した生徒たちは約1週間後にある期末テストに向けて、前回とは全く違って、かなり集中した様子で勉強を進めていました。

ちなみに今回も新しい参加者が増え、サタスタはどんどん広がっています！



今回は、毎回参加してくださっている大学生のボランティアスタッフについて紹介します。昨年度からずっとボランティアとしてきてくださっているのですが、今年の生徒たちは初対面です。慣れるまではみんな遠慮がちだったのですが、回を追うごとに質問をしに行く生徒も増え、馴染んでいっています。

また休憩時には積極的に、生徒に話しかけにいられます。生徒たちにとって、年齢が近い相談相手は貴重だと思います。勉強のこともそれ以外のことも、いろんな話ができればいいなと思います。

そしてサタスタ終了後、昨年の土曜塾の卒業生たち7名が高校の期末テストに向けた質問を山ほど抱えて、学校にやってきました。卒業生たちにとって、土曜塾が勉強できる場だったのだと思います。それぞれが進んだ高校の授業の様子や独特の文化を交流し、そのあとは「自学自習」で、それぞれが質問をしたり、問題に取り組んだりしていました。



高校生たちは2時間ほど勉強に取り組んでいたのですが、今年のサタスタメンバーも何人か残って一緒に勉強していて、9時から合計4時間も勉強した生徒もいました。みんな、お疲れ様でした。

(文責：松浦)